

LUMI STACK DESIGNER • OLED | OPV

デバイススタックを丸ごと設計

材料選定からHOMO/LUMOダイアグラムまで、数分で。

検証済みテンプレートから始め、各層の材料をLumoraカタログまたは自社材料から選び、膜厚とドーパント濃度を設定すると、**エネルギー準位図と物理チェックが即座に更新**されます。スタックが完成したら、ワンクリックで全層を見積り、PDFに書き出せます。

内蔵テンプレートとデバイスクラス

青色 MR-TADF (DABNA)、青色りん光 (Flrpic/mCP)、緑色りん光 (Ir(ppy)_3)、緑色 TADF (4CzIPN/CBP)、赤色 TADF、赤色りん光 ($\text{Ir(piq)}_2(\text{acac})$)、白色タンデム、ハイパーフルオレッセンスのテンプレートを用意。デバイスクラスはトップエミッション、タンデム、逆構造 (n-i-p)、強マイクロキャビティ、フレキシブル、透明、QLED、**OPV**、ペロブスカイトPV/LEDに対応します。

お客様へのメリット

- ✓ **バンドダイアグラムを読み解きます。**注入障壁、EBL・HBLによる励起子閉じ込め、キャリアバランスが一目で分かり、発光体準位がホスト内に描かれます。
- ✓ **アーキテクチャを検査します。**すべての編集がOLEDデバイス物理ルールで検証され、クリーンルームに入る前に問題が顕在化します。
- ✓ **各層が実在の材料に連結。**ホスト、ドーパント、ブロック層、輸送層が購入可能な製品に対応し、設計がワンクリックで見積になります。
- ✓ **論文をそのままツールへ。**論文のデバイス図を貼り付けると、LUMIがカタログ材料に対応した編集可能なスタックとして再構築します。

ブースでお試しいただきたいデモ：参照中の論文のデバイス構造をお持ちください。図をLUMIに貼り付けてその場でスタックを再構築し、1層を入れ替えて、1gも発注する前にエネルギー地形がどう変わるかをお見せします。



ツールを開く

LUMIでスタックを設計

デバイス構想から検証済みスタックまで、数週間ではなく数分で。

www.lumorachemicals.com